

2007年3月19日

文部科学大臣 伊吹文明 様
国際協力機構理事長 緒方貞子 様

日本理科教育学会 会長
川上昭吾

「現職教員特別参加制度」の待遇改善について（要望）

本学会としては、「JICA 国際協力機構」の活動を高く評価してきております。

それ故、会員は、国別支援活動、留学生の受け入れ、大学生の海外青年協力隊への応募の紹介、技術協力プロジェクトの講師、等々に積極的に協力して参りました。

さて、「現職教員特別参加制度」による海外派遣制度には、下記のような課題があるように思います。

- 家族を同伴することができないこと、
- 経費は海外と国内の家庭とで2分されてしまうこと、
- 派遣先が途上国でありしかも首都圏をはずれること、
- そのため国によって状況は異なるが、衛生、健康、治安において不安がある場合があること、
- 教育活動が定まっていないこと、など。

類似の制度として「日本人学校への教員派遣制度」がありますが、それとの派遣条件の格差は非常に大きいものがあります。

日本国の代表として途上国で活躍することを志す教員が、途上国での厳しくも崇高な任務を全うするために、せめて日本人学校への派遣条件並の待遇改善を図られんことを要望します。